

## 選考委員コメント

○ 著作権の理解についての指導について具体的に示されており、それぞれ工夫がなされた実践であることが分かる。板書計画などの資料も充実している。「3. 教育活動の構成・視点」に示された教師の基本的な考え方が、どのように「5. 教育活動の内容・流れ」に示された各事例に結びついているのかについて説明を追加していただけると、より他校での実践に繋がると思われる。

○ 著作権の難しい課題を法という観点からうまく活用し、生徒に興味関心を抱かせている。事例紹介のドラえもん最終話問題などは、基本的に著作権問題の題材としては学年問わず共通であることを感じた。

○ 高校生なので、心情面の気づきから法的理解に重点を置いた学習内容の扱いも効果的であると思う。指導教材を作成し、丁寧に扱われている。また、トレードオフという考える場面を設定していること構成も良い。本活動を通して、生徒がどのような考えを持ち、どう変容していったのかについての説明があるとさらに良いと感じた。

○ レポートを讀んでいて、現在の著作権制度の新たな課題にも目配せされており、著作権についてこういう説明のやり方もあるのかということについてとても勉強になった事例であった。高等学校の「情報A」の授業としては、内容もしっかり構成されていてよい。他方、著作権の法律的側面の専門性は高いが、6時間のうち2～3時間は、実技等の制作・演習を行ってもよいのではないかと感じた。

○ 著作権の保護と利用とのバランスをトレードオフと捉え、著作物の取扱いルールの必要性を論じた視点は著作権教育としては新しい。著作権だけでなく、将来の情報社会のモラルを考察する上でも役に立つ学習体験となると考えられる。事例や題材の取り上げ方も的確で、生徒が興味を持つ題材から必要な項目が学べるように配慮されている。今後は、「5分でできる著作権教育」Webサイトの「著作権教育の段階的指導モデル」などを参考として、高校段階で学ぶ学習領域・学習事項を整理したうえで、適切な事例・教材を選び、過不足なく学習を進められるようなレッスンキットの開発につなげていただけることを期待する。

○ 資料のボリュームが多く、情報量が豊富である。高等学校課程の教科「情報」の内容としては、大変充実しているように思う。ただ、レポートが著作権学習のテキスト的な要素になっていて、他校で参考になるように授業内容を知らせるといった書き方になっていない

のが惜しいと思う。

○ 著作権について相当くわしい先生ならではの実践といえる。振り返りシートの結果を見ると、高校生が著作権について深く考えていることがよくわかり、たいへん興味深い内容になっている。今後は、一般的な高校教師でも実践できるレベルで組み直して公開してもらえると、情報科だけでなく多くの教師にとって参考になるより優れた事例になると思う。

○ 6時間という時間をかけているため、相当高度な内容を生徒に理解させることが可能だったのではないかと思うが、やや、盛り込み過ぎのような感じもある。ただし、同様の内容を数年度続けて授業で扱っていらっしゃるだけあって、まともには良い実践になっていると思う。

○ 教員の著作権に関する知識の高さがうかがえる。そしてその知識を教育的課題に昇華し、授業を展開したことがよくわかるレポートである。ただ、今日の社会状況からすると、生徒の身近にあるスマホ、インターネットなどを絡めた実践の部分も必要であろうと感じた。

○ 情報科の授業の中でしっかり著作権教育を行っているのが良い。内容、プリントもかなり充実している。ただ、生徒がどのように変容していったのか記述がないのが残念である。